

佳作

りよ行をして見つけたこと

神奈川県 湘南白百合学園小学校二年 渡辺 有里乃

かぞくで、高げんへりよ行に行きました。プールや、森のナイトツアー、そばうち体けん、サイクリングなどができるホテルでした。たくさん体けんできましたので、

「たのしかったあ。」

とわたしもなんでも言っていたら、

「なぜ、どんな人のおかげでたのしめたか、じゅんばんに、思い出して考えてごらん。」

とおとうさまから言われたので、考えてみることにしました。

ホテルには、えがおでむかえてくれたうけつけの人、プールのかんしいん、やさしく一生けんめい教えてくれた、そばうち体けんの先生、よるの森をたのしくあん内してくれたナイトツアーの先生、おいしいレストランではたらく人たちなど、たくさん

人たちがいました。ほかに、会ってはいないけれど、おんせんや、へやをきれいととのえてくれる人など、かげでささえしてくれる人たちがたくさんいるはずです。

とくに、そばうちの先生は、どうするとおいしいそばになるかを教えてくれたり、上手にできると、えがおでほめてくれたり、ほうちょうをもつ手がいなくないか、のどがかわいていないかなど気にしてくれたりしました。おそばができた時には、わたしといっしょにとてもよろこんでくれました。

また、ホテルからかえる時、見えなくなるまで、えがおで手をふりつづけてくれたうけつけの人がいました。わたしもたくさん手をふって、またきたいなと思いました。ホテルのたくさん人の、みんなによろこんでもらいたいという気もちがあつまって、わたしたちがホテルでたのしくすごせたいと思いました。

いえにかえって、ふだんの日のことを考えてみました。あさおきて、はをみがきます。ハブラシをつくってくれる人、ハミガキこをつくってくれる人、水どうのじゃロや、水どうかん、水をつくってくれる人がいます。ただ、はをみがくだけでも、多くの

人のおかげでできるのです。たくさんの人、いろいろなしごとのおかげで、わたしはまい日生かすできるとかなんどうしました。

わたしも、大人になったら、だれかのやくに立つしごとをしたいです。でも、そのしごとをただするのではなく、ホテルの人たちのように、思いやりをもってできる人になりたいです。そうしたら、まわりの人も、じ分もうれしくなれると思います。